

平成23年度第1回理事会

日時：平成23年5月21日(土) 15:00-18:00

場所：地震研究所 第2会議室

出席者：中田，篠原，井口，大湊，寅丸，中村，林，藤田，星住，松島，森

欠席（委任済み）：宇都，金子

議題

【報告事項】

(1) 庶務報告（大湊）

会員関係：新規入会 12名，退会予定 25名，除名対象 21名

学生会員継続申請未提出（退会予定） 31名

新規入会は会員カード回覧により承認

主催・共催・協賛 5件，後援 2件

転載・使用許可 6件，人事公募 25件

入退会のタイミングについて

入会 入会届提出後数がまとまった段階で，理事回覧の上承認し，会員数に反映．おおむね，春と秋の理事会で承認．

退会 退会届提出のあった年度末をもって退会．次年度 4/1 に会員数に反映．退会届を出しても年度末までは会員扱い

逝去 ご逝去の連絡を受けた日に会員数に反映

除名 3年間会費未納となった3月末に除名対象者確定．6月下旬に警告書を送付し，8月までに支払いが無ければ除名．秋の総会で除名承認．総会后，会員数に反映される．（除名は総会承認事項）．秋の総会が開かれない場合は次の春の総会で承認し，会員数に

反映.

(2) 編集委員会 (寅丸)

火山発行状況 55-5, 55-6, 56-1 発行済み,
56-2・3 合併号 6月末発行予定
編集状況 論説6編, 寄書6編, 書評1編
火山学会ロゴを「火山」の裏表紙に掲載
桜島特集号 7編受付, 目標 20編

(3) 大会委員会 (松島)

連合学会, 火山関連発表数の推移

2008	2009	2010	2011
158件	142	120	273

(霧島関係が多い)

火山学会が主体のセッション数 3から10へ増加

2011 秋の学会案

10/2-4 旭川 大雪クリスタルホール

関連する行事 9/29~10/1 ジオパーク全国大会

巡検 大会前 9/30-10/1 十勝岳, 大会後 10/4-10/5 大雪山

2012 秋の大会案

2012 10/14-16 エコール御代田

LOC 地震研(武尾, 市原)・日大(高橋, 安井)

巡検 10/13 浅間山, 10/16-17 草津

理事からのコメント

宿の確保はどうなっているのか

火山防災シンポジウム 10/13 と重なるのでは？

10/17-19 に地震学会， 11/19-23 の COV7 (コリマ) あり.

2013 秋の大会

産総研， 山口大， 熊本大， JAMSTEC， 信州大， 磐梯山 などの候補から検討中

(4) 事業委員会 (星住)

ロゴを作成 火山の裏表紙や大会予稿集に掲載

2010 子供サマースクールの会計報告 約 159 万円

2011 子供サマースクール (予定)

2011 8/6-7 国立磐梯青少年交流の家

地震学会・火山学会に地質学会が加わる

子ども夢基金助成 1,184,000 円 内定]

事業予定

ロゴマーク普及 新しいグッズを検討， 予算は 10 万

理事の意見

事務局の負担にならないもの，

IAVCEI で売れるもの，

再びマグカップは？

クリアファイルは？ 枚数があれば安くなる？

学会賞の賞状にロゴを入れる

子供サマースクール

磐梯， 20 万助成予定

(5) 各賞選考委員会 (篠原)

各賞 学会賞 巽好幸 氏, 奨励賞 鈴木雄治郎・福島洋 氏,
論文賞 田中宏幸 氏 に決定

研究奨励国際賞 (仮称) を創設してはどうか?

趣旨 国際学会でセッション提案・運営を行う若手研究者を表彰・渡航
助成しの本の火山学の国際認知度向上, 若手の国際活動奨励し日
本の火山学を活性化する.

理事の意見

セッション提案が採択されることは「award」なのか?

渡航費用補助で十分では?

Fund(基金) にしてはどうか?

セッション提案の採択はそれほどハードルが高くない「award」とい
うほどのものではないのでは?

「賞」であれば表彰規定変更が必要. 「補助金」なら規定変更不要.

「セッション提案補助金」としてはどうか? 「火山学会○○○グラン
ト」とか「火山学会○○特別グラント」とか.

(6) 国際委員会 (藤田)

IAVCEI にレポートを提出

(7) 他学会委員会 (金子)

鉱物学会 (国際誌) は補助金打ち切り online 版のみ発行へ

EPS 分担金 20 万支払い.

EPS の H23 科研費採択 額は増えたが (820 万→990 万) 単年度採択

(8) IAVCEI2013 組織委員会 (宇都, 井口)

活動報告

「火山」の桜島特集号 増刷分の予算は何処から出すか？

紙版，DVD版？ IAVCEI参加人数分とすると1000部が目安

一度に印刷？→2回に分ける

紙は止めるDVDのみ

「火山学会」の出版物という位置づけ．IAVCEIの出版物ではない．

学会が印刷し，IAVCEIに配布を依頼．

(9) 学校教育委員会（林）

事業の中間報告

火山教育教材の研究

セッション「ジオパークと火山教育」

連合学会の小委員会に出席

事業計画

現事業の継続

地学オリンピック組織委員会

(10) 財務委員会（森）

2010年度決算

収益事業 27万

非収益事業 441万円の赤字．

経常収入 908万（予算+3万）

経常支出 1349万（予算-576万）

会費収入の記帳ルールを変更．本来，次年度の会費収入とすべき前納

会費を納入年度の会費収入としていた．正規の取り扱いに戻すため，

今年度収入であるべき前納会費を前年度収入扱いとしたため，今年度

収入が見掛け上約550万減．

2011 年度予算提案

経常収入 1287 万

経常支出 2383 万

赤字予算内訳 IAVCEI 助成 450 万，富士火山 210 万，赤字回避分 200 万，予備費 50 万，奨励費・名簿作成 100 万など

【審議事項】

(1) 「火山」発行回数

ページ数減少傾向に歯止めかからず.

2 カ月に一度→3 カ月に一度

情報をタイムリーに流す，という役割は，2 カ月おき発行という点で既に果たしていない. メール・HP を活用すべき.

今年度は「合併号」で乗り切る. 来年度から正式に年 4 回発行へ移行.

編集意欲を高めるため，査読を早める.

今年 1 号で予告し，来年度以降に 6 号→4 号化に移行.

特集号を別冊にすると，大学が購入しない.

桜島特集号は別冊にする.

(2) 各賞の承認 提案通り承認

(3) 研究奨励国際賞の新設について

「賞」はそぐわない

「国際活動奨励事業」あるいは「国際活動奨励金」を立ち上げてはどうか.

「国際会議セッション提案奨励事業」として立ち上げる.

各賞委員会マター（表彰規定変更）→国際委員会マター（新事業立ち上げ）

(4) 学生発表賞

学生発表総数は 30 件。ポスター・オーラルの区別はしたくない。

30 件をそれぞれ 3 人以上が評価すると延べ 90 人の評価が必要。評価員数が 10 名なら一人 9 件、評価員が 30 名でも一人 3 件の評価が必要。かなりの負担になる。

総会では、「実施する方向で検討中」と報告。

表彰規定には書かない。

名義は 大会委員長？LOC 委員長？

【その他】

環境災害対応委員会

東日本地震に関連して、「津波」に重点を置いた提案書を出す動きがある。

総会の進め方

(1) 各委員会報告

(2) 審議事項 発行部数の件は、審議事項でなく報告事項（定款に年間発行数の規定がないため） 「入会案内」には、年 6 回発行と明記されているため、修正必要。

以上